

もうひとつの民間学

——知識人・文化人としての渋沢敬三

渋沢敬三は、祖父・栄一の後を継いで実業人として生き、日本銀行総裁、大蔵大臣を歴任した一方で、その素志は学問の追究にあり、また学知の発展の支援にあったこともよく知られている。学者としての人生はあえて選ばなかったが、大学生の時から始めた屋根裏の私設研究所「アチック・ミュージアム」（後の日本常民文化研究所）は、郷土玩具や民具・文書といったモノだけではなく、学を志す若手民間のヒトを多く集め育て、多様な学術資料を生みだした。やがて九学会連合の共同研究につながっていく学際的な共同調査も、一九三〇年代の渋沢敬三の人間関係から生みだされたものであった。

本シンポジウムでは、学問への援助を含めた知識人・文化人としての局面に光をあて、「もうひとつの民間学」ともいうべきものの可能性について考えてみたい。



2013年9月7日（土）13:30-17:00
主催：渋沢敬三記念事業実行委員会

パネリスト

ノリコ・アソウ（カリフォルニア大学サンタクルス校準教授）

渋沢敬三における文化財とは何か

アラン・クリスティ（カリフォルニア大学サンタクルス校準教授）

ミンゾク学研究を撮影したアチックフィルム

鶴見太郎（早稲田大学教授）

パトロンとしての渋沢敬三

佐藤健二（東京大学教授）

渋沢敬三にみる「もうひとつの民間学」

コメンテーター

ジョルダン・サンド（ジョージタウン大学準教授）

* 渋沢敬三記念事業実行委員会は一般財団法人 MRA ハウスの助成を受けています。

プログラム

13:30-13:45 開会あいさつ

渋沢雅英（公益財団法人渋沢栄一記念財団理事長、
一般財団法人 MRA ハウス理事）

13:45-15:45 各パネリスト報告

16:00-17:00 討論

入場無料／使用言語：日本語

*当日は Ustream でのインターネット中継を予定しています。

会場

東京大学 情報学環・福武ホール B2
福武ラーニングシアター
〒113-0033 東京都文京区本郷 7-3-1

参加申込

氏名（ふりがな）、ご所属、連絡先（E-mail または電話）をお書きの上、メールで下記までお申し込みください。
keizokinen50@shibusawa.or.jp
問合せ： 渋沢敬三記念事業実行委員会
TEL 03-3910-0029



会場アクセス



東京大学 情報学環・福武ホール B2

福武ラーニングシアター

〒113-0033 東京都文京区本郷 7-3-1

【最寄り駅からの所要時間】

都営大江戸線 本郷三丁目駅 徒歩 7分

東京メトロ丸ノ内線 本郷三丁目駅 徒歩 8分

東京メトロ千代田線 湯島駅 徒歩 20分

東京メトロ南北線 東大前駅 徒歩 10分